

知と人  
なまかな

和歌山  
市



# みんなの みらいが みえる

できることがみつかる！

自然・伝統 与謝野で織りなす新たな未来

# YOSANO TOWN



## この冊子で伝えたいこと

与謝野町の未来のために自分ができることはなんだろう？

総合計画策定に関わるなかで、皆さんが描かれている未来像とまちづくりへの熱い想いや、与謝野町の魅力を改めて知ることができました。この総合計画の別冊は、自分にできることを探す地図のようなものです。皆さんの声から“まちづくりのヒント”を見つけてください。



## およそ“1万”というギャップ

与謝野町に住んでいないけれど、与謝野町に本籍のある人が1万人近くもいるということをご存知ですか？それは、実家がある、おじいちゃんおばあちゃん家がある、あるいは結婚した思い出の地や先祖代々の地等、何かしらの理由で与謝野町と関係しているということです。

そんな縁のある1万人の皆さんを単なる数字の「ギャップ」にするのではなく、遠く離れて住んでいても与謝野町へ秘める想いや声があると考えるなら、それは良い驚きですね。

「いざ！与謝野へ！」こんな合言葉が飛び交い、人と人が「つながる」まちづくりって素敵ですよ。人と人がつながる“1万通り”の可能性が見えてきませんか？

人口 22,036 人  
(平成30年3月31日時点)

本籍人口 30,615 人  
(平成30年3月31日時点)





# したい！ みたい！ 協力したい！ 素敵！ 素晴らしい！ みらいにつながるキーワード

まちづくりアンケート、まちかどインタビュー、よさの想い人インタビュー、中高生みらい会議、あっちこっちみらい会議、子育てみらい会議、与謝野みらい会議から、与謝野町の“魅力”、“未来像”、“できること”、“課題”、“提案”等について、多くの意見が集まりました。その中から、自分たちにもできそうな『みらいにつながる』キーワードを集めました。



与謝野町は自然（大江山連峰や古墳群！）が素晴らしく、その自然を生かした登山マラソン大会は良いイベントだ！（60代男性）

引き続き旧加悦鉄道の保全、ちりめん街道の活性化に進んで協力したい。（40代男性）



与謝野町は「未発掘な町」「可能性がある町」  
まだまだ眠っている魅力がたくさんあると思います。（30代男性）

阿蘇シーは内海で穏やかな事が魅力。  
海の上から流星群を見ると素敵だと思うんだけどなあ！（30代男性）

自分に出来る事は、  
阿蘇シーサイドパークに花の苗や野菜の苗を持ち寄って、  
収穫イベントなどやってみたい。（40代女性）

一歩踏み出せないという人は大勢いると思う。  
そういった人の背中を押してあげたい。（40代女性）

今の活動を発展させて与謝野町祭りをやりたい！（30代男性）

子どもたちが小川で魚やサワガニ、ザリガニを捕まえたり、野花を摘んだり、田畑で豊かな体験をするなど、自然とともに共存できる環境はいつまでも残って欲しいです。（30代女性）

与謝野町で生活している子供時代に、  
楽しい思い出がないと、子どもたちは帰ってこないだろうから、  
自分は出来る限り楽しいことをしたいし、  
子どもにも楽しんでもらいたい。（30代男性）



祭りがあることですぐまとまりがある。

このまとまりを大切にしたい。（50代男性）

知恵ある者は知恵を出し、力がある者は力を出せ。なんにもない者は元気出せ。（70代女性）

自分に出来ることは、危険だからと制限するのではなく、自己責任でたくましく子どもを育てる！（40代女性）

本業があるのがつりとはできないけど、週末だけとかちょっと、お母さんたち3人で  
定期市みたいなこと移動販売等がしたいと話している。（30代女性）

かつておさび谷があった場所を再生できるような活動がしたい。（40代男性）



虫がたくさん飛んでいるという話を聞いたことがある場所や、  
最近見なくなった声をきく場所がある。  
たくさん虫が見れるように再生計画に取り組んでみたい。（40代男性）

大きなことはできないが、観光に来た人や、地域の子どもたちに対して声掛けならできる！（70代男性）

将来子どもたちが住む場所を選ぶ時、「この地に住みたいなあ」と思ってもらえるように、  
与謝野の魅力や魅力を伝えるように努め、住みよい雰囲気や居場所づくりをしていきたいです。  
（30代女性）

貰った一鉢から始まったバラ園。  
花が人を呼んで来てくれてバラをみるとみんな笑顔になってくれる。  
そんな姿を見ていると自分も元気になる。  
一年でも長く無理なく自分流に楽しみたい。（70代女性）



与謝野町は、丹後の観光の拠点に立地的に一番適している！（30代男性）



与謝野町の魅力は、  
何かやってやろうという気概が違うと思う。  
もっと先を見ているような。（20代男性）

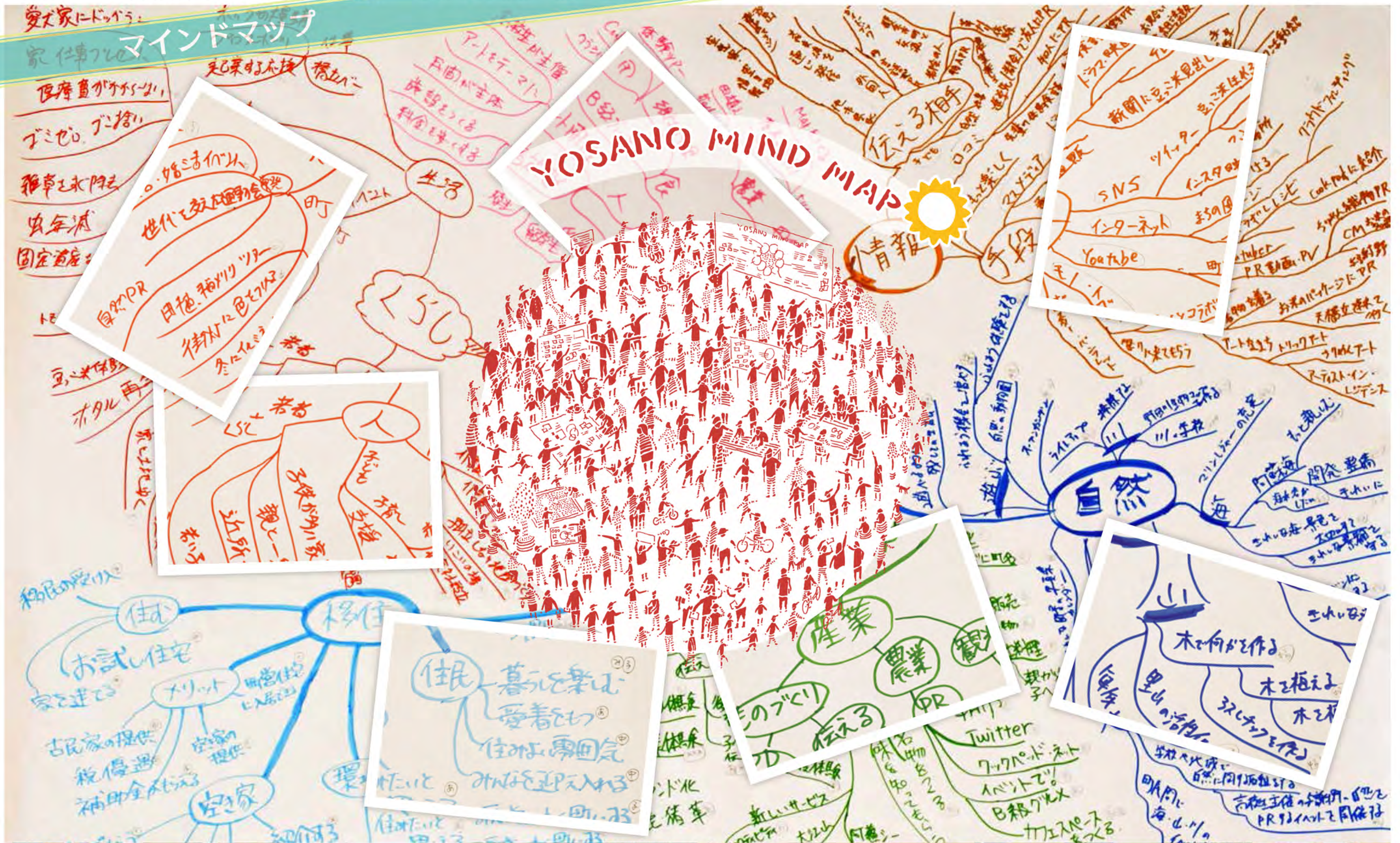
地域はみんなお節介なおっちゃんおばちゃん！（60代自営業）

ほかにもたくさんの声が見れます!!  
まちづくりアンケート報告書（第2次総合計画）



自然豊かな環境で、大きな家族愛に包まれ、沢山の刺激を受けたり学ぶことが多く、人の温かさやパワーを特に感じます。（30代女性）





近所に友達が少なく居場所作りをしたい。与謝野町はお互い支えあえる雰囲気が残っている。お互い得意分野を持ち寄ればやりたい事が出来る環境が整っている。(20代女性)

お金を儲けることが大切なんじゃない。どう儲けたか？そして、どう使うかが大切！(60代男性)  
仕事がないのではない。若い人が働きたいと思える場所で、仕事を切り開くことを許容できる地域であることが大切！(40代男性)





育てたいもの

Live  
住みやすい

Like  
愛着をもつ

住民が暮らしを楽しんだり  
愛着をもったり  
住みやすいと感じるだけで  
ステキな未来がみえる！

与謝野町の

残したいもの

新しいチャレンジ

Life  
暮らしを楽しむ



# カワルオモイそしてアクションへ

住民同士だからこそ引き出した言葉や想いに、何かが動き出す。何かが変わる。

想い人インタビューでの出会い。世代や地域、立場を超え交流できたみらい会議での気づきと学び。

住民目線にこだわり、この取り組みを支えてきた11名の住民による総合計画策定サポーターが語るカワルオモイ。

あなたの中で何かが動き、何かが変わる、あなた自身の“カワルオモイ”はなんですか？



赤松 はるみ

大江山の雲海、一字観公園、岩屋の雲岩公園、阿蘇シーサイドパークなど、与謝野町の豊かな自然や田園風景と、歴史的産業、遺産建造物、各区の祭りを守りながら、今動き始めているホップや桑の葉・蚕・繭が町民の生業となるような暮らしが営まれると良いと思います。

どんなドレスよりも素敵な着物の良さを子どもたちに伝え、丹後ちりめんの産地として元気なまちに、そして、豊かな自然をより魅力的にする桜の名所づくりといった動きを考えるととてもワクワクしてきます。長生きをしてそんな未来を見たいです。



足立 由美

目の前の現実しか見えていませんでした。地域に密着した仕事をしていましたが、知らない事だらけでした。

総合計画に関わらせてもらう事になり、沢山の方の話や考え方を聞かせて頂く機会に巡り合い、自分たちが住んでいる町にまだまだ沢山魅力がある事に気づかされました。そして、未来に向けて自分たちに何が出来るのだろう、と思う様になり「気づく→知ろう→見よう→動こう」に意識が変わりました。「人との繋がりを大切に。当たり前を意識を持って変えていける、自分たちでありたい。」と思っています。



石倉 由加里

今の仕事に就く前は、7市町の観光に携わる仕事をしていました。与謝野町に来ないと見ることができない景色や食事、また体験ものなど国内外問わず観光客に求められています。「与謝野町はもっと頑張らないと！」との思いで一人出来ることは私なりにやってきました。この別冊づくりを通して、同じ志を持った仲間たちと出会い、心強くもあり、やりがいもあります。私は今後も今の職場で、「丹後ちりめん」や与謝野町の歴史など子どもたちや町民の方々にどんどん広めていきたいですし、これからもできることはやっていこうと思います。楽しみながらやっていきたいです。



植田 友香理

『どんどん地域に根づいてきているなあ！』と、総合計画に関わりしめじみと感じています。未来会議や想い人インタビューなどたくさんのお会いがありました。出会ったみなさん、知れば知るほどどんどん意識や行動が変わっていかれ、自分にできることはなんだろう？と、真剣です！そんなみなさんに触発され、私もより一層ワクワクして行動したくなります。だれかが気づいて行動しワクワクすると隣の人も影響されてワクワクし行動する！まさに与謝野町の未来が見えた気がしています。これから私ができることは、ワクワクを見つけて実践すること！その連鎖です！素敵な『みらい』を子どもたちに手渡すぞ！



小川 直美

これからの与謝野町。誰かが動いてくれるんだろうな、とどこか他人事の私でした。

今回この総合計画に関わらせて頂くことになり、30年近くこの町に住んでいながら知らなかった素晴らしい自然、残したい産業・歴史、そこから広がる発展性。これからの与謝野町にはどれも必要なことだと感じました。

私のような無関心だった者ですが、まずは知る事の重要性、知ろうとする事が最初の一步だと実感しました。



木谷 恵美

与謝野町は住みやすく・子育てしやすい町で好きだけど特に興味を持つことなく暮らしていました。そんな私が総合計画に参加させてもらい町の現状を知り町の未来を自分事として考える大切さを教えてもらう中で、町の魅力を知りたいと思うようになりました。町の取り組みやステキな場所・建物・歴史が色々あることを知って又地域で楽しむことを実践されている魅力的な方々に出会い「与謝野町っておもしろいな」ともっと好きになりました。私の意識が変わったことでわが子も町に興味を持ち始めていると感じています。町の未来を考えた時に私に出来ること、子どもたちや友達・町外の人に町の魅力を自分が楽しみながら伝えていくことをしていきたいと思っています。



木村 順一

今回、総合計画に参加させてもらって沢山の方に出会い、色々な話の中で自然の中で暮らす楽しさやありがたさを感じました。与謝野町は沢山の自然があるので、ふれる、育てる、作るといったことをしていきたいです。その中でも育てるという事に重点を置きたいと思っています。例えば、種をまくところから始めて、花を咲かせその花を摘み取り部屋に飾り、綺麗だなと思える心の余裕が持てる様に沢山の方に伝えていきたいです。



後藤 康宏

この会議に参加をして、自慢できる町のいいところにたくさん気づきました。私は「祭り」に焦点を当て、もっとたくさんの方に「祭り」を知ってもらいたいです。そのために、現在仲間集めを始めています。友人たちに自分の思いを語りました。友人たちも共感してくれて、実現するためにどう動けばいいかを考えています。

今はまだ小さなアクションからかもしれません。しかし今後どんどん大きな活動へと成長させていきたいです。



坂根 義隆

与謝野町には地域ごとにいろいろなイベントや素敵な場所があります。地元の人には知っていても、同じ町内にいる人でも知らない事があります。

自分の地域の良いところをいろんな方に知ってもらう、そして自分の地域の方にも再認識してもらえれば、もっとまちが良くなると思います。総合計画に参加させていただき、その事を強く感じました。



堀 翔一郎

大学、大学院での学びを通して、「自分が現在住んでいる与謝野町のまちづくりに関わりたい」との思いから、この総合計画に関わりました。参加してみると、与謝野町に住んでいる人一人ひとりが自分のまちに対して熱い思いを持っている、自分も与謝野町在住歴が少ないながらも、「わがまち」に対する想いを語りました。まちづくりは自分自身が「わがまちのファン」になることであり、まちづくりを「自分ゴト」としてとらえることであると思うので、これから先の10年、地域に住む一人ひとりが「与謝野ファン」であり、まちづくりを「自分ゴト」としてとらえる人がたくさん増えれば良いなと思いました。



山添 周子

今まで自分が住んでいる町についてじっくり考えたことがなかった私でしたが、総合計画に参加したことで町の現状を知ることができ、もっと深く知りたいと思うようになりました。

また、年齢や職種の枠にとらわれず、町を知りたい、良くしたいという同じ思いを持った方々との出会いがあり交流する中で、私自身も新たな発見や学びが多く、刺激を受けています。

今後も自分のペースで楽しみながら町の魅力的なところを発見し、人にも伝えていけるようになります。

できそうやん？ やってみようか！



## みつげなつたかえ？

知っているようで知らないコトや、気づいているようで気づかないモノがある。

そう、わたしたちのまち与謝野町には、ワクワクするコトやキラキラするモノがいつもの暮らし、いつもの風景の中に溶け込んでいます。1年半に及ぶ第2次与謝野町総合計画策定の取り組みに関わってくださった約2,000人もの住民の皆さんの声から、わたしたちはまちのワクワクやキラキラに“はっ”と気づきました。その一つひとつを誰かに伝え、誰かと分かち合う、そんな何気ない行動から、ヒトが動き、オモイが変わる瞬間にも立ち会うことができました。だからこそ、この総合計画別冊を手にしてくださった皆さんに伝えたいことがあります。

「すごいことをせんとまちづくりなんてできひんのと違うん？」「自分にできることはたかが知れとるわ。」どこかでそう感じていたり、思っているだけではもったいないということです。

自分のワクワクが隣の誰かのワクワクになって、誰かのワクワクが子どもたちのワクワクになる。子どもたちがワクワクすれば未来はキラリと輝く。そういった一人ひとりの想いが連なることが、まちの未来を創り、動かしていく原動力になるのではないのでしょうか。

わたしたち住民が、与謝野町での暮らしや風景を楽しみ、みんなでその楽しみを分かち合うことが、未来へつながるまちづくりの一步となるはずです。

自分が楽しめることを“ここ”で見つける。まずは、そこからはじめてみませんか？

### スペシャルサックス

- |                   |                   |                              |
|-------------------|-------------------|------------------------------|
| ■ まちづくりアンケート回答者   | ■ 雲岩創成塾           | ■ 宮津青年会議所                    |
| ■ プレインタビュー協力者     | ■ よさの百年の暮らし委員会    | ■ 京都中小企業家同友会丹後支部             |
| ■ キックオフインタビュー協力者  | ■ もみじを育む会         | ■ 子育てみらい会議参加者                |
| ■ まちかどインタビュー協力者   | ■ 紅葉の会            | ■ みんなの・みらいが・みえる<br>ミーティング参加者 |
| ■ よさの想い人インタビュー協力者 | ■ ちりめん街道を守り育てる会   | ■ テーマ別みらい会議参加者               |
| ■ 加悦中学校           | ■ 岩滝ボランティア連絡協議会   | ■ パブリックコメント提出者               |
| ■ 江陽中学校           | ■ 滝・金屋農業振興会       | ■ 与謝野町産業振興会議                 |
| ■ 橋立中学校           | ■ 遊中部             | ■ 与謝野町総合計画審議会                |
| ■ 加悦谷高等学校         | ■ 与謝野町商工会青年部      |                              |
| ■ 宮津高等学校          | ■ 与謝野町商工会青年部 OB 会 | (順不同、敬称略)                    |

### 写真提供

- 新井勝子
- 江種里榮子
- 岡島由希
- 旧尾藤家住宅管理人（旧尾藤家住宅 FB ページより）
- 京都 X キャンプ与謝野
- 託児所きらきら星
- 総合計画策定サポーター（順不同、敬称略）

### 挿絵提供

- 西村啓佑（敬称略）

### 発行

与謝野町役場

〒629-2292 京都府与謝郡与謝野町字岩滝 1798 番地 2

TEL. 0772-43-9015（企画財政課直通）

FAX. 0772-46-4630

e-mail : kikakuzaisei@town.yosano.lg.jp

### 編集

企画／構成

総合計画策定サポーター

編集アシスタント

与謝野町企画財政課



最後まで読んでくださりありがとうございました。

みんなの未来がみえるように...





# 与謝野繭子



ちりめん太郎（30歳）は、与謝野繭子と幼なじみ。  
 町外に出ているちりめん太郎が、与謝野町に帰ろうかと  
 繭子に相談すると...



今度、与謝野町に帰ろうと思うんだけど、与謝野町って今ど  
 んな感じ？



既読

そういえば、子どもの頃に行ってたお店が無くなったんだ。



え～！なんで？



既読

だんだん人が減ってきてやっていけなくなったんだって。



なんか、なくなってばかりやん!? Σ(°□°;)



既読

うん、そうなんやん（∩`）  
 でもね！今、住民と役場が一緒になって、これからの新しい  
 まちづくりをしてるんだよ。



ほんま!? どんな事しとるん？



既読

2040年を見据えて、与謝野町のこれからの10年間をいろ  
 んな世代やテーマ、地域で話し合っって与謝野町の魅力はなん  
 だろうって考えたりする会議をしてるんだよ。  
 将来の子どもたちにステキな与謝野町を残すためなんだ。  
 それを「みらい会議」って呼んでるの！  
 一緒にみらい会議に参加しようよ!?



与謝野町は時がゆっくり流れていてほっこりする。もう一度都会に住もうとは思わない。(40代女性)